

長崎市中心部の交通結節等検討会議 (第3回)

—検討会議 (第2回) について—

検討会議（第2回）の概要

- 日時：令和2年2月19日（水）15時～17時
- 場所：長崎県農協会館702～704会議室
- 議事：
 - （1）検討会議（第1回）について
 - （2）長崎駅周辺の交通結節にかかる検討
 - （3）松が枝地区の交通結節にかかる検討
 - （4）今後の進め方

委員会での主な意見：

◆長崎駅周辺地区

- 平面横断は歩行者が青信号で渡り切れるのかという不安があるが、デッキ案は動く歩道が整備され、歩行者にやさしい。
- にぎわいという点でもデッキ案の方が、大黒町側と相互的に連携をもって、面的なにぎわいを創出できるのでは。
- デッキ案の場合、景観や駅前広場の基本コンセプトを考えると、デッキは国道を渡ったところで終了すべきである。
- 今回、デッキ案でいくのが一番いいのではないか。なお、将来、デッキ改修などのタイミングで今一度サイドリザベーションを含む検討をしてもらいたい。
- 大きな目を見たときに、駅と大黒町側とのにぎわいをつなげていくという事も必要と考えているが、デッキ案の場合、景観というのは非常に大事になってくると思う。駅前広場や多目的広場と同様に「長崎駅周辺エリアデザイン調整会議」の中で調整することがより良い答えにつながると思う。
- 新たな計画の完成までの間、利用者にかかなりのストレスをかけてしまうため、その対策が必要。
- 新しくバスターミナルをつくるという事のスケジュールがあればいろんな議論ができるのではないか。
- 何よりも駅で降りた方がどれだけストレスフリーで移動できるか、また、大黒町の方へいかにスムーズに流していくかというのが大きな課題である。
- デザイン上の問題等の意見があるが、将来を見据えたときに、移動の円滑さをいかにして達成するのかという観点について優先順位を上げて検討してほしい。
- 大きな方向性として、デッキ案を基礎として今後検討を進めていくとなるのであれば、駅と大黒町側との距離が長いという共通の問題意識を解決するものとして、いろんなことが考えられると思う。

委員会での主な意見：

- 景観上の配慮という点で、デッキを張ることは、その下を通る人の圧迫感や暗さみたいなことも配慮する必要がある。
- 過去の経験から、地下構造物を維持管理するのは相当維持費がかかることからコスト面でいうとデッキ案の方が有利といえる。

【座長】

- 大体総括すると、景観上課題はありつつも、デッキ案が優位ではないか。

◆松が枝周辺地区

- 今後の運用のところまで考えて、長いスパンで判断するのが非常に難しいところではあるが、将来、軌道新設という前提があつての分岐新設案という事であれば、今後検討していく余地はある。

◆その他

- 駅と長崎港ターミナルの結節も重要であることから、現段階での具体的な検討というのは難しいと思うが、長期的な課題として何らか示してほしい。
- 全体に共通する課題として交通量の低減がある。浦上川線への交通転換はスピード感をもって検討した方が良い。